



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 サンワテクノス株式会社
 コード番号 8137 URL <http://www.sunwa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 山本 勢
 (氏名) 花山 一八

TEL 03-5202-4011

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	22,654	△11.1	37	△89.7	5	△98.8	8	△97.5
28年3月期第1四半期	25,478	9.3	366	△12.7	489	△2.1	344	12.6

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 △598百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 280百万円 (20.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	0.60	—
28年3月期第1四半期	24.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	53,933	21,091	39.1	1,521.88
28年3月期	55,439	22,263	40.2	1,550.73

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 21,091百万円 28年3月期 22,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年 3月期の連結業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	51,000	△6.3	800	△43.6	850	△45.0	600	△41.9	42.28
通期	111,000	5.0	2,250	△8.0	2,450	△7.4	1,650	△2.4	116.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	14,438,000 株	28年3月期	14,438,000 株
29年3月期1Q	579,333 株	28年3月期	81,182 株
29年3月期1Q	14,190,768 株	28年3月期1Q	14,357,017 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	8
(1) 受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、急速な円高の進行や中国をはじめとする新興国経済の減速継続が、景気を下押しするリスクとなっており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の中で当社グループは、第9次中期経営計画（**Challenge 1500**）の初年度として新たな取組みをスタートさせました。電機・電子・機械のコアビジネスの「システム、装置、部品・コンポーネント販売事業」に加えて「エンジニアリング事業」「グローバルSCMソリューション事業」により、ものづくり現場と流通のトータルコーディネーター企業として地域社会の産業振興の発展に貢献することを目指しております。しかしながら、当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界におきましては、スマートフォン向け及び自動車関連業界向けの需要が堅調を維持しているものの、中国経済減速の影響を受けて、半導体関連業界・産業機械業界は厳しい受注環境が続いており、当初見込んでいた市場の伸長に対して低調な展開となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高226億54百万円（前年同期比11.1%減）、営業利益37百万円（前年同期比89.7%減）、経常利益5百万円（前年同期比98.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益8百万円（前年同期比97.5%減）となり、前年同期を下回る結果となりました。

部門別の業績は次のとおりであります。

[電機部門]

電機部門では、産業機械業界向けのサーボモータの販売が一部増加いたしました。太陽光発電システム向けの制御機器の販売は減少いたしました。この結果、当部門の売上高は38億57百万円（前年同期比17.3%減）となりました。

[電子部門]

電子部門では、自動車関連業界向けの電子部品の販売が増加いたしました。産業機械業界向けの電子部品の販売は減少いたしました。この結果、当部門の売上高は171億28百万円（前年同期比12.7%減）となりました。

[機械部門]

機械部門では、液晶関連業界向けの生産設備の販売が増加いたしました。この結果、当部門の売上高は16億67百万円（前年同期比38.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

① 日本

自動車関連業界向けの電子部品の販売及び液晶関連業界向けの生産設備の販売が増加いたしました。太陽光発電システム向けの制御機器の販売及び産業機械業界向けの電子部品の販売は減少いたしました。この結果、売上高179億31百万円（前年同期比3.4%減）、営業損失85百万円（前年同期は営業利益93百万円）となりました。

② アジア

産業機械業界向けの電機品の販売及び電子部品の販売が減少いたしました。この結果、売上高57億74百万円（前年同期比26.1%減）、営業利益1億41百万円（前年同期比44.9%減）となりました。

③ 欧米

産業機械業界向けの生産設備の販売及びアミューズメント向けの電子部品の販売が増加いたしました。産業機械業界向けの電機品の販売及び電子部品の販売は減少いたしました。この結果、売上高10億44百万円（前年同期比24.8%増）、営業損失14百万円（前年同期は営業利益22百万円）となりました。

④ その他

売上高は3億38百万円（前年同期比36.8%減）、営業損失1百万円（前年同期は営業損失5百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、539億33百万円となり前連結会計年度末に比べ15億5百万円減少しました。受取手形及び売掛金の減少がその主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、328億42百万円となり前連結会計年度末に比べ3億33百万円減少しました。支払手形及び買掛金の減少が主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、210億91百万円となり前連結会計年度末に比べ11億72百万円減少しました。自己株式の取得及び為替換算調整勘定の減少が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

急速な円高の進行や英国のEU離脱問題などによる世界経済減速の懸念により、依然厳しい経営環境が予想されます。当社グループの業績もその影響を避けられず、主力のFA・産業機器業界向けの販売が当初の計画を下回る水準で推移していることから、第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、平成28年6月28日開催の定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う打ち切り支給が承認可決されましたので、同制度を株主総会終結の時をもって廃止しております。

これに伴い、当第1四半期連結会計期間において、当社の「役員退職慰労引当金」を全額取り崩し、固定負債の「長期未払金」613百万円を計上しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,359	6,970
受取手形及び売掛金	33,006	28,276
電子記録債権	1,548	3,150
商品及び製品	5,170	6,576
仕掛品	0	20
その他	864	858
貸倒引当金	△91	△83
流動資産合計	46,857	45,770
固定資産		
有形固定資産	3,788	3,734
無形固定資産	240	229
投資その他の資産	4,553	4,198
固定資産合計	8,581	8,163
資産合計	55,439	53,933
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,732	17,578
電子記録債務	—	6,769
短期借入金	1,417	1,339
1年内返済予定の長期借入金	900	900
未払法人税等	274	145
引当金	—	18
その他	1,366	1,745
流動負債合計	28,691	28,496
固定負債		
社債	1,200	1,200
長期借入金	1,200	1,200
長期未払金	—	613
役員退職慰労引当金	696	62
退職給付に係る負債	998	996
その他	389	274
固定負債合計	4,484	4,346
負債合計	33,176	32,842
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,553	2,553
資本剰余金	1,958	1,958
利益剰余金	15,761	15,568
自己株式	△54	△427
株主資本合計	20,217	19,652
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,148	950
為替換算調整勘定	897	487
その他の包括利益累計額合計	2,045	1,438
純資産合計	22,263	21,091
負債純資産合計	55,439	53,933

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	25,478	22,654
売上原価	22,276	19,790
売上総利益	3,202	2,863
販売費及び一般管理費	2,835	2,826
営業利益	366	37
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	32	33
仕入割引	14	13
受取家賃	28	29
為替差益	8	—
その他	50	38
営業外収益合計	140	119
営業外費用		
支払利息	10	10
売上債権売却損	3	2
為替差損	—	134
その他	3	4
営業外費用合計	17	151
経常利益	489	5
特別利益		
投資有価証券売却益	—	36
特別利益合計	—	36
特別損失		
投資有価証券売却損	—	3
投資有価証券評価損	—	9
特別損失合計	—	12
税金等調整前四半期純利益	489	30
法人税等	144	21
四半期純利益	344	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	344	8

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	344	8
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△197
為替換算調整勘定	△65	△409
その他の包括利益合計	△64	△607
四半期包括利益	280	△598
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	280	△598
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,205	7,171	805	25,182	296	25,478	—	25,478
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,364	644	32	2,041	239	2,280	△2,280	—
計	18,570	7,816	837	27,223	536	27,759	△2,280	25,478
セグメント利益又は損 失(△)	93	257	22	372	△5	367	△0	366

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円には、セグメント間取引消去0百万円及び棚卸資産の調整額△1百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,242	5,218	998	22,459	194	22,654	—	22,654
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,688	556	46	2,291	144	2,435	△2,435	—
計	17,931	5,774	1,044	24,751	338	25,089	△2,435	22,654
セグメント利益又は損 失(△)	△85	141	△14	40	△1	39	△1	37

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1百万円には、セグメント間取引消去0百万円及び棚卸資産の調整額△1百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

①商品仕入実績

当第1四半期連結累計期間の商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	16,573	101.2
アジア (百万円)	4,001	64.6
欧米 (百万円)	482	101.6
報告セグメント計 (百万円)	21,058	91.4
その他 (百万円)	158	54.1
合計 (百万円)	21,216	90.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注状況

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
日本	18,556	103.5	12,732	106.6
アジア	5,137	65.7	5,015	82.2
欧米	966	411.5	939	638.5
報告セグメント計	24,660	94.9	18,687	102.7
その他	242	55.3	149	35.8
合計	24,903	94.2	18,836	101.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	16,242	94.4
アジア (百万円)	5,218	72.8
欧米 (百万円)	998	124.0
報告セグメント計 (百万円)	22,459	89.2
その他 (百万円)	194	65.4
合計 (百万円)	22,654	88.9

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。